

公開セミナー

「船舶海洋への宇宙利用：政策と技術の革新に向けて」

神戸大学 大学院海事科学研究科・国際海事研究センター主催

グローバルな海難救助制度（GMDSS）や自動船舶識別システム（AIS）の導入など船舶への衛星利用は着実に進展しているものの、宇宙技術そのものの進展はさらにめざましく、海洋・地球の細部に亘って各種の観測・監視ができるようになりつつある。また、インド、中国、アラブ諸国などが、衛星の海洋への利用へ参入しつつある。

以前は船舶、海洋及び宇宙技術でリードしてきた我が国が今後、他国に劣後化することなく、船舶海洋への宇宙利用の国際的な枠組み作りに参画し、且つ、リードして行くためには、どのような政策課題と技術課題があるのかをこのセミナーで探りたい。

2014年1月31日（金） 13:30～17:30

（於）神戸大学大学院海事科学研究科

総合学術交流棟 梅木Yホール

13:00 : 受付開始)

13:30 : 挨拶（古莊雅生氏 神戸大学大学院国際海事研究センター長 教授）

13:40-14:20 : 木内英一氏（NPO 宇宙利用を推進する会 技術調査部長）

「海洋と宇宙の連携というパラダイムシフト：新たな産学官連携の役割」

14:20-15:00 : 吉田公一氏（一般財団法人・日本舶用品検定協会 調査研究部専任部長）

「海洋と宇宙を巡る国際的な動向と今後の展開」

（15:00-15:20 : 休憩）

15:20-16:00 : 香西克俊氏（神戸大学大学院 海事科学研究科 教授）

「衛星搭載合成開口レーダー・散乱計とメソ気象モデルを利用した洋上風力資源推定方法の開発」

16:00-16:40 : 廣野康平氏（神戸大学大学院 海事科学研究科 准教授）

「衛星を活用した海事に関わる研究課題の整理と展望」

16:40-17:30 : 総合討論（コーディネーター：吉田公一氏）

17:30-19:00 : 情報交流会（於：大学会館1階食堂、会費3,000円）

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 公開コロキウム
海洋と宇宙に関する産学連携セミナー：第2回

「船舶・海洋への宇宙利用：モニタリングへの衛星利用」

主催：横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター
共催：神戸大学 海事科学研究科 国際海事研究センター
東京海洋大学 海洋工学部

海洋は物流の大動脈であり、かつ人類に残された資源の宝庫である。21世紀に新たなグローバルコモンズとなった宇宙を海洋に活用することの彼方に、国際的な海洋の持続可能な利用の道と、海洋情報大国としての日本の大きな将来像を展望したい。

2014年8月29日（金）12:30 開場 13:00 開始 16:45 終了
横浜国立大学 中央図書館メディアホール (<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>)

参加無料

プログラム

12:30 開場

13:00 開始：挨拶（YNU 海センター）

講演（各20分+質疑応答5分）司会 吉田公一

13:05～14:45

海洋サーベイ／モニタに利用できる衛星の現状と将来 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
伊藤徳政氏

船舶運航への宇宙利用 東京海洋大学 庄司るり教授

次世代を含む AIS と衛星 海上保安庁 野口英毅氏

衛星データのスマート水産業への利活用 北海道大学 齋藤誠一教授

休憩（14:45～15:00）

15:00～15:50

海事衛星通信の現状と将来：日本無線株式会社 宮寺好男氏

宇宙からの海洋監視：歴史と展望，そして課題 NPO 宇宙利用を推進する会 木内英一氏

パネル・ディスカッション 15:50～16:45

今後の海洋への衛星利用の展望と、共同研究の可能性を探る。

17:00～19:00 学内レストラン・ポルティで懇親会を催しますので（会費3000円程度を予定）、ネットワーキング、情報交換など、是非ご参加ください。

海洋と宇宙に関する産学連携セミナー：第3回

「船舶・海洋への宇宙利用：海洋資源と船舶航行への可能性」

主催：東京海洋大学 海洋工学部

共催：神戸大学 海事科学研究科 国際海事研究センター

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター

海洋無限・海洋自由の時代は終わろうとしている。時代は船舶の活動を含めた海洋全般が総合的に管理される方向へ向かいつつある。かかる時代に宇宙技術をどのように船舶・海洋に応用するか？今世界は必死になってこれを模索している。我が国の船舶海洋と宇宙関係者がお互いに接近することが何よりも急務である。

2015年4月21日（火）12:20 開場 12:50 開始 17:30 終了

東京海洋大学・越中島キャンパス 越中島会館 講堂

(<http://www.e.kaiyodai.ac.jp/contact.html>)

第1部～第3部：参加無料

情報交換会（17:30～19:30）：3,000円

プログラム

12:20 開場

12:50 開始：挨拶（東京海洋大学）

13:00-14:00 第1部：宇宙利用：今、そしてこれから

C-SIGMA 東京開催からの展望 木内英一氏（宇宙利用を推進する会）

衛星リモートセンシングからの展望 渡辺忠一氏（日本リモートセンシング学会）

14:00-16:30 第2部：宇宙利用：技術の展開は

船舶航行における衛星利用の技術展望について 久保信明准教授（東京海洋大学）

休憩（15:00～15:20）

宇宙利用への技術開発 佐藤美喜氏（古野電機株式会社）

衛星海洋学の現状と今後の展開 溝端 浩平准教授（東京海洋大学）

16:20-17:20 第3部：パネルディスカッション

「海洋と宇宙、ニーズと技術の接点を探る」

今後の研究の展開・方向 廣野康平（神戸大学）

モデレータ：木内英一

パネラー：久保信明、佐藤美喜、溝端浩平、廣野康平